

子ども・子育てアンケートの速報値（単純集計）について

子ども・子育て支援事業計画の改定にあたり実施した、中野区子ども・子育てアンケートの速報値（単純集計）を報告する。

1. 調査概要

- (1) 調査対象 ①乳幼児（0歳～5歳）の保護者
 ②就学児童（小学校1年生～6年生）の保護者
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・回収による無記名アンケート
- (4) 調査期間 平成30年9月14日～10月22日まで

2. 回収状況

調査対象	発送件数	回収件数	回収率
乳幼児（0～5歳）	4,582	2,639	57.6%
就学児童（1～6年生）	4,573	2,478	54.2%

3. 速報値（単純集計）の概要

(1) 保護者（母親）の就労状況（乳幼児・就学児童調査）

○乳幼児調査では59.7%、就学児童調査では73.2%の母親がフルタイム、パート・アルバイト等で就労しており、子どもの成長に伴い働く母親の割合が増加している。

(2) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（乳幼児調査）

○幼稚園、保育園などの教育・保育事業は84.2%の保護者が利用しており、このうち91.2%の保護者が中野区内で利用している。

○教育・保育事業を利用している保護者のうち、定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所」が52.9%で最も多く、「幼稚園（通常の時間のみ）」が24.2%、「幼稚園（預かり保育も利用）」が15.0%、「認証保育所」が3.6%、「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」が2.3%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が2.1%、「小規模保育事業」が2.0%となっている。

(3) 定期的に利用したい教育・保育事業（乳幼児調査）

○「認可保育所」が57.8%と最も多く、次いで「幼稚園（預かり保育も利用）」が36.8%、

「幼稚園（通常の時間のみ）」が23.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が20.0%、「認証保育所」が9.1%、「認定こども園（幼稚園・短時間利用）」が7.2%、「勤務先の保育施設」が3.9%、「小規模保育事業」が3.1%となっている。

（４）不定期な教育・保育事業、子育て支援事業の利用状況（乳幼児・就学児童調査）

○いずれの調査においても、「利用していない」が最も多くなっている。乳幼児調査において、不定期に利用している事業としては、「幼稚園の預かり保育」が12.5%と最も多く、次いで「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が5.8%、「ファミリー・サポート事業」が4.7%となっている。就学児童調査では、「ファミリー・サポート事業」が2.8%と最も多くなっている。

（５）子育てひろばの利用状況（乳幼児調査）

○子育てひろばの利用については、「児童館、ふれあいの家のひろば」が22.1%、「すこやか福祉センターのひろば」が8.7%、「地域の団体が実施するひろば、乳幼児親子の居場所」が4.1%、「民間の行うひろば事業」が3.3%となっている。

（６）平日の放課後の過ごし方（乳幼児・就学児童調査）※乳幼児は過ごし方の希望

○乳幼児調査は「学童クラブ（22.3%）」と「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）（21.6%）」、就学児童調査では「自宅（70.0%）」と「習い事（67.4%）」が高くなっている。

（７）学童クラブ、キッズ・プラザ、児童館の利用状況、利用意向（就学児調査）

○学童クラブを利用している児童は13.4%となっている。また、低学年で「平日に利用したい」は16.6%、低学年で「夏休み等に利用したい」は18.8%、高学年で「平日に利用したい」は14.8%、高学年で「夏休み等に利用したい」は24.4%となっている。

○キッズプラザを利用している児童は16.7%となっている。また、今後も「利用したい」および「自校であれば利用したい」は55.8%となっている。

○児童館を利用している児童は28.7%となっている。また、今後も「利用したい」は46.0%となっている。

4. 今後の進め方

本調査については、今後、「作業の手引き」に基づきクロス集計を行い、教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」を算出する。

※本資料は平成30年11月20日時点の集計データのため、今後変動する可能性がある。